

上智大学後援会 NEWS

Sophia University Parents' Association

2020
April

4月1日発行

上智大学後援会について

上智大学後援会は、1973年に、学生の父母の有志が大学を財政的に支援することを目的に設立しました。それは、当時のイエズス会所属の先生方が毎年大学に多額の寄付をしていることを知ったのがきっかけです。以来、後援会が学院に寄付した金額は70億円を超え、大学の施設設備の整備や各種奨学金の給付など、様々な用途に役立てられてきました。

2013年に創立100周年を迎えた上智大学は、次なる100年に向けて「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ Sophia—Bringing the World Together」という目標を掲げ、今後の10年ほどを見据えた将来構想として「グランド・レイアウト2.0」を公表し、新たな取り組みを進めています。そして、上智大学後援会もさらなる発展を目指しています。

後援会会長より挨拶



上智大学後援会会長
佐藤 潤一

3月には、学業を全うした学生が就職や進学で新しい道へと飛躍していききました。4月を迎え、替わって上智大学への入学を果たした1年生をキャンパスに迎え、新たな1年が始まります。

昨年は、一昨年に引き続き自然災害の多い1年でしたが、5月の新天皇のご即位、9月～11月にかけてのラグビーワールドカップ2019、そして11月下旬の教皇フランシスコ来日など、様々な明るい話題もありました。特に、11月26日に教皇フランシスコが上智大学を訪問し、学生をはじめとする本学関係者にメッセージをくださったことは、大変喜ばしい出来事でした。6号館101教室で行われた講話の中で教皇は、「己の行動においては、公正で人間的であること。手本となるような責任を取ることに関心をもつ者、そして決然と弱者を擁護する者となってほしい」「ことばと行動が偽りや欺瞞であることが少ないこの時代にあって、まさに必要とされるそうした誠実さにおいて知られる者になってほしい」「上智大学のキリスト教とヒューマンイズムの伝統は、現代世界において貧しい人や隅に追いやられた人とともに歩むことである」など、たくさんの力強い励ましのメッセージをくださいました。学生がこれらのメッセージを心に留めそれに応えていくことを、後援会の一員としても期待し応援しています。

上智大学後援会は、父母・保証人の目線による学生への援助を行っています。また、佐久間勲上智学院理事長、暉道佳明上智大学長をはじめとする先生方、大学事務局の皆様の協力を得て、様々な懇親会や講演会を開催しています。オープンキャンパスでは、保護者向け企画「親目線・子ども目線でとらえる受験勉強と大学生活」にも参加しました。上智大学を選択するきっかけになればと祈るとともに、後援会への加入につながれば何よりと考えています。

上智大学後援会は、多くの会員のご理解によって支えられています。ソフィア・ファミリーのネットワークが皆様のご参加によってさらに広がり充実していくことを期待し、またお願いしてご挨拶とさせていただきます。

2020年度後援会の主な行事

	行事内容	会場
4月1日(水)	新入会員歓迎会	四谷キャンパス
5月17日(日)	【総会】総会、講演会、懇親会	
11月7日(土)	【秋の懇親会】講演会、課外活動団体助成金贈呈式、懇親会	
11月29日(日)	【関西地区懇親会】講演会、懇親会	大阪サテライトキャンパス

後援会会員の中から、各学年・学部ごとに1人の方に役員に就任していただき、年4回開催する役員会において、後援会の各種行事や支援事業などについて審議しています。また、毎年5月には、会員の皆様にご出席いただき総会を開催し、後援会の予算や決算、役員改選などについて決議しています。



2019年度総会

後援会では、会員を対象とした懇親会を年に数回開催しています。この懇親会には、父母・保証人の会員だけでなくご家族の方も出席されて、会員同士あるいは来賓の理事長、学長、副学長、学部長など教員の方々と歓談し、親睦を深めています。また、教員による講演会も開催しており、会員の皆様に大変喜んでいただいています。



2019年度新入会員歓迎会



2019年度後援会の 支援事業（報告）



教育研究環境改善援助

■図書館貸出用ノートパソコン更新費用補助

図書館地下1階の多目的スペースであるラーニング・コモンズに設置されている貸出用ノートパソコンの更新費用を補助しました。更新後のパソコンは軽く利用しやすいものとなり、学生からも好評です。



学生勉学研究活動援助

■上智大学後援会奨学基金

2018年度から基金化を進め、2019年度も1千万円を基金に組み入れました。毎年の利息収入を活用するなど、後援会奨学金の安定的な給付を目指しています。



■上智大学後援会奨学金

成績が優秀かつ経済的に困窮している学生に、それぞれ10万円の奨学金を給付しました。今年度の給付学生数は、53人（うち外国人留学生は5人）です。

2人の奨学生からお礼のメッセージをいただきました。

Message_奨学生

この度はご支援いただきありがとうございます。私は母子家庭の第一子です。本来なら大学に通える経済的余裕は我が家にはありません。しかし、貴後援会等様々な方面から支援を受け、こうして大学に通うことができます。教育を受けることが贅沢品であってはいけません。知は何にも勝る力なのだ、日々痛感するばかりです。教育格差を始め社会の格差が少しでもなくなるよう、今は学びに専念し、卒業後はそれを活かし、格差のない社会を作るために尽力していきたいと思ひます。

（哲学科3年…2019年度時点）

この度後援会奨学金の奨学生に選んでいただき、ありがとうございます。私は韓国からの留学生として経済学部へ入学し、学業に加え、ヘルパーとして新入生のサポートをしたり、学外ではアルバイトやインターンをしたりと様々なことに挑戦し、貴重な経験をさせていただきました。このような温かいご支援をいただき、学業に励み、有意義な大学生活を送らせていただくことができ、ありがたい限りです。このご支援に恥じぬよう、残りの大学生活を真面目に丁寧に送ってまいりたいと考えております。

（経営学科2年…2019年度時点）

■被災学生就学支援

後援会では、大規模災害（熊本地震、平成30年7月豪雨など）被災者に対して、入学金・授業料減免及び生活支援金の給付などを行いました。

■英語学習アドバイザー配置費用補助

学生に英語学習指導などを行う専門のアドバイザーを、6号館1階のLLC(Language Learning Commons)に配置する費用を補助しました。

■留学カウンセラー配置費用補助

学生の留学相談などを行う専門のカウンセラーを配置する費用を補助しました。

■美術館・博物館等利用特典制度年会費補助

東京国立博物館、国立科学博物館、国立美術館、国立劇場などを、割引料金または無料で利用できる利用特典制度の年会費を補助しました。

■課外活動団体への助成



2008年から毎年テーマを決めて課外活動団体の中から5団体を選出し、1団体につき10万円の助成金を贈呈しています。2019年度は、「体育会系、文化系を問わず2019年1月以降の各種大会、コンテスト、作品公募等において素晴らしい成果を上げたクラブ、サークル」という条件のもと、学生センターから推薦いただきました。秋の懇親会第2部の課外活動団体助成金贈呈式において、各団体の代表者に目録が授与されました。受賞5団体からのお礼のメッセージは次のとおりです。

Message_少林寺拳法部

この度は、体育会少林寺拳法部を選出いただきまして誠にありがとうございます。ご支援していただいた助成金につきましては、合宿で使用する備品の補充や修練で用いるミットを購入させていただきます。私たち少林寺拳法部は、全国大会や関東大会などのような学生大会の他にも、昇級・昇段試験といったものもあり、部員は文武両道を目指しております。部員一同、この助成金をいただいたことに感謝していると同時に、上智大学の体育会としてより良い成績を残せるよう精進しなければならないと考えております。皆様のご支援があって、私たちが活動できているということを忘れず、これからも少林寺拳法部は邁進してまいります。今後とも温かいご支援のほどよろしくお願ひいたします。



Message_空手道部

この度は、空手道部を選出いただき誠にありがとうございます。私たちは千唐流空手道の習得と自己の鍛錬を目標に、日々稽古に励んでおります。いただいた助成金は稽古や大会で使用する防具やキック用ミット等の購入の際に大切に使用させていただきます。後援会の皆様のご支援があり充実した活動ができていることに感謝の気持ちを忘れず、さらに精進してまいります。今後とも温かいご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

Message_アフレコス

この度は、私たちの活動を評価していただき誠にありがとうございます。アフレコスは、「日本とアフリカの心理的距離を縮める」をコンセプトにアフリカへの興味関心の喚起を目的としたフリーペーパー『アフリカン・レポート』の発行や、日本とアフリカの学生の相互理解を深めることを目的とした学生交流会等を主な活動としています。今回ご支援いただいた助成金は、これらの活動経費として大切に使用させていただきます。これからも日本とアフリカの架け橋となれるよう、より一層精力的に活動していく所存ですので、引き続き温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

Message_エレクトロニクス研究部

我々上智大学エレクトロニクス研究部は、電子工作やプログラミングを中心とした技術を研究し、大会やSNSを通じて発信する活動を行っています。「エレクトロニクスの面白さを周りに伝える」という目標のもと、ソフトウェアとハードウェアの両方からアプローチし、日々、研究・改良に励んでおります。この度は、後援会の方々に我々の活動を評価していただき誠にありがとうございます。ご支援いただいた助成金はオシロスコープやファンクションジェネレータなどの測定器の購入に使わせていただきたいと思います。今後とも温かいご支援のほどよろしくお願ひいたします。

■災害復興支援 ボランティア活動への助成



被災地復興支援活動交通費補助107人分、南三陸の活動宿泊・交通費等の一部補助28人分、飯館村交流交通費補助9人分を助成しました。



■食堂朝食メニュー料金補助



四谷キャンパスの4店舗（2号館5階の学生食堂とサブウェイ、6号館1階のS-CAFÉ、9号館地下1階Café）で実施されている、「100円朝食」の料金補助を行いました。この「100円朝食」は学生に大変人気で、1時限の授業開始前には店舗の前で行列をつくる学生の姿が見られます。

■目白聖母キャンパス昼食 購入費用補助



目白聖母キャンパスにおいて、提携業者2社によるパン販売とおにぎりセット販売の料金補助を行いました。食堂設備のない目白聖母キャンパスの学生に喜ばれています。

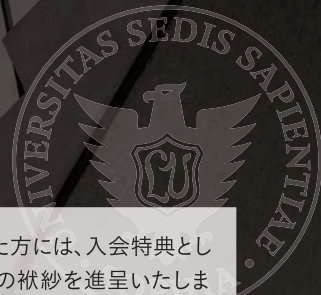


学生厚生保健関係助成

■上南戦第60回記念大会補助

2019年度に第60回を迎えた上南戦（上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会）を支援し、懸垂幕・横断幕、のぼりなどの作成費用を補助しました。また、会場費用や記念グッズの費用なども補助しました。





後援会の各種特典

入会特典



▲襟紗



▲キーホルダー

後援会にご入会いただいた方には、入会特典として、大学のエンブレム入りの襟紗を進呈いたします。また、入会時に会費を一括で納入いただいた方には、さらに、大学のエンブレム入りキーホルダーを進呈しています。

会員特典

■ 本学図書館が利用できます

100万冊を超える蔵書を有する四谷キャンパス中央図書館のほか、目白聖母キャンパス図書室、石神井分館で図書の閲覧ができます。受付にて後援会会員証をご提示のうえ、ご入館ください。

※開館日・時間等の詳細は、大学ホームページをご覧ください。

■ 提携ホテルの宿泊が優待料金で利用できます

ホテルニューオータニ東京、東急ステイ四谷、京阪グループホテル、庭のホテル東京、ハートンホテル北梅田(大阪)の宿泊が優待料金でご利用いただけます。

※詳細は、後援会ホームページ(会員特典について)をご確認ください。

■ 上智大学に隣接する紀尾井ホール主催の公演チケットが1割引になります

紀尾井ホールのホームページをご覧ください。鑑賞したい公演がありましたら、紀尾井ホールチケットセンターに、直接、ご連絡ください。「上智大学後援会会員である」とお伝えしたうえで、ご予約ください。

【チケットセンター】TEL:03-3237-0061 時間:13:00~17:00

■ サンマルクカフェ四ツ谷駅前店・目白駅前店の商品が1割引になります

会計の際、後援会会員証をご提示ください。

NEW オテル・ドゥ・ミクニにて後援会会員限定メニューを提供しています

フランス料理店のオテル・ドゥ・ミクニにて、『ご優待スペシャルランチプラン』『ご優待スペシャルディナープラン』を利用いただけます。ご予約・お申込みの際、「上智大学後援会会員である」とお伝えいただき、ご来店時に後援会会員証をご提示ください。

【ご予約・お問い合わせ】TEL:03-3351-3810

※詳細は、後援会ホームページ(会員特典について)をご確認ください。

NEW 四谷キャンパスをご案内します

『CAMPUS GUIDE MAP』に従って、学内をご案内します。地方に在住の保証人の方など、東京にお出かけの際、気軽にお立ち寄りください。ご希望の方は「上智大学後援会会員である」とお伝えいただき、事前にご連絡ください。原則、金曜日の午後に対応いたします。

【ご連絡先】ソフィア連携室(後援会事務局)
TEL:03-3238-3127



上智大学後援会会員特典については、後援会ホームページ(会員特典について)をご覧ください。
https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/support/support_privilege.html

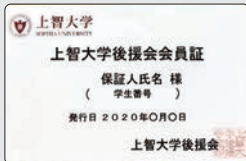


Topics

■ 後援会会員証をリニューアルしました

後援会会員証は、学生の在学期間中有効です。これまでの会員証は紙製で、耐久性にやや問題があったため、2020年度発行分からプラスチック製に変更しました。

これまでの会員証はそのままご利用いただけますが、新しい会員証への交換を希望する場合は、事務局までご連絡ください。また、会員証を複数枚発行希望(ご両親それぞれに携帯など)の方がいらっしゃいましたら、同じく事務局までご連絡ください。



■ 「教皇フランシスコ来校記念」のしおりをお送りします

2019年11月26日、教皇フランシスコが上智大学を訪問し、学生をはじめとする本学関係者にメッセージをくださいました。教皇フランシスコは、本学の設立母体であるイエズス会出身の初の教皇です。また、教皇の本学への訪問は、1981年の聖ヨハネ・パウロ2世教皇以来、38年ぶり、2人目となりました。この度の教皇フランシスコの来校を記念してしおりを作成し、貴重な訪問の記念として、後援会会員の皆様にお送りします(総会の開催案内に同封)。

しおりの上部にはイエズス会の紋章と、教皇フランシスコの紋章銘であるラテン語の“*Miserando atque eligendo*”(あわれみ、そして選ばれた)が刻まれています。この紋章銘は、聖ベダ・ヴェネラビリス(Beda Venerabilis, 672/673~735年、イングランドのキリスト教聖職者・教会博士)の説教の言葉から取られています。イエスは慈しまれ(miserando)、そしてマタイを選んだ(eligendo)のですが、教皇フランシスコはこのマタイの召命に関して、それは「因習的な感覚から離れた、慈悲に基づく人間への深い理解だった」と説明しています。そして、しおりの下部には上智大学の校章と、来校の日付が刻まれています。



■ 2020年度上智大学地域懇談会について

本学では、毎年、全国各地で大学主催の地域懇談会を開催し、父母・保証人の皆様に大学の近況のほか、学業、就職、留学などについてご説明しています。この地域懇談会の会場には、後援会役員も出席し、後援会の活動をご紹介します。地域懇談会の日程など詳細は、大学から郵送される開催通知や大学ホームページでご確認ください。

上智大学後援会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 学校法人上智学院 総務局ソフィア連携室内
TEL.03-3238-3127 FAX.03-3238-3137 E-mail:d-kouenkai-co@sophia.ac.jp

上智大学後援会のホームページでは、後援会に関する様々な情報を掲載しています。是非、ご覧ください。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/support/index.html>

